



学校運営協議会とは…



糸島市の小中学校では、学校運営協議会が設置されています。
この学校運営協議会が設置された学校の通称として、「コミュニティ・スクール」という言葉が用いられています。

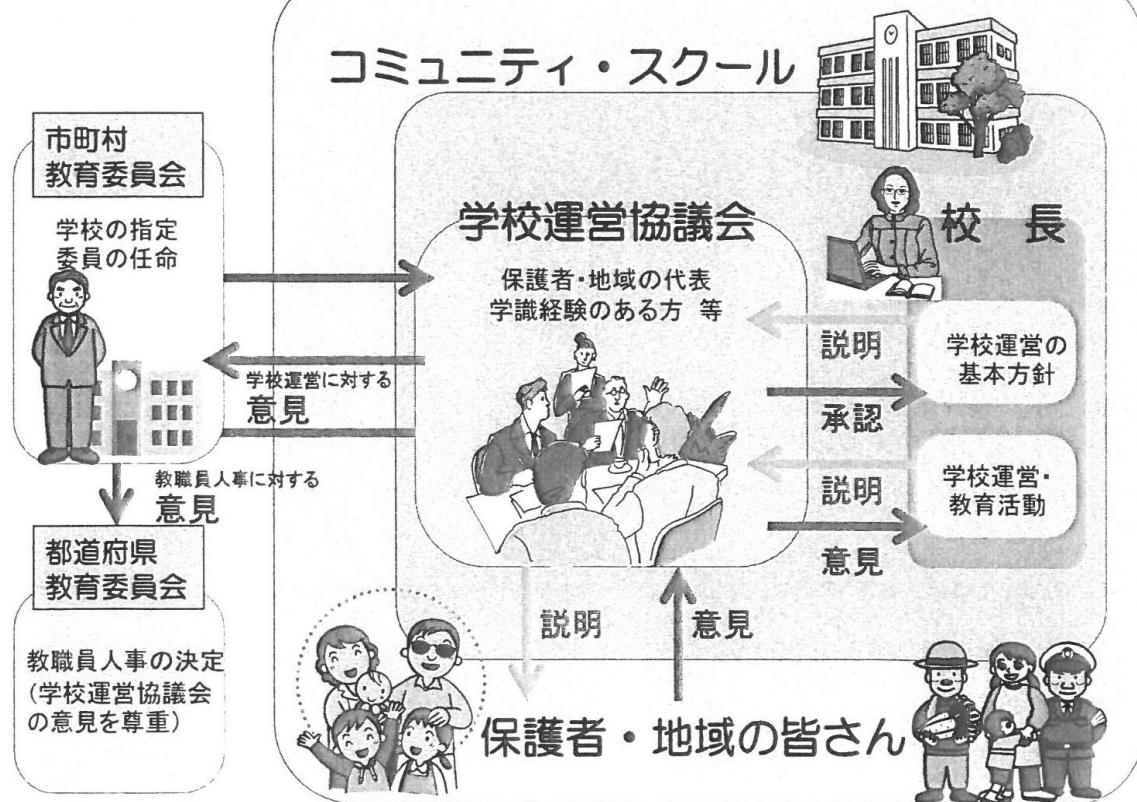
学校教育に対する多様な要請に応え、信頼される開かれた学校づくりを進めるためには、保護者や地域住民のニーズが学校運営に反映されることが大切です。

学校運営協議会は保護者や住民、有識者などから構成され、学校の運営に意見を述べたり、基本的な方針を承認したりすることができます。この制度は、公立学校の運営に保護者や地域住民の意見を反映させる仕組みとなっています。

また、保護者や地域の皆さんにとってコミュニティ・スクールは、学校運営への参画や協力を通して、生き甲斐を感じたり、まちづくりに貢献したりする体験の場であり、生涯学習の場ともなります。

学校・家庭・地域の三者が双方向の関係を築く中で「地域の子どもを地域で育てる」ことを具体化することがコミュニティ・スクールの目指すところです。

コミュニティ・スクール





令和6年度

第2回 長糸小学校 学校運営協議会（熟議）

開催日 令和6年7月23日

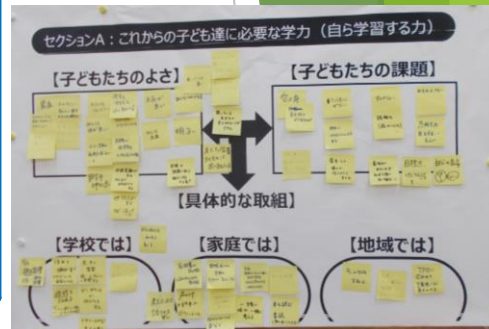
今回は、委員の皆様に加え、PTA 理事の皆様にもご参集いただき、3つのセクションに分かれて、それぞれのテーマについて熟議（セクション会議）を行いました。



セクションA

「これからの子どもたちに必要な学力（自ら学習する力）」

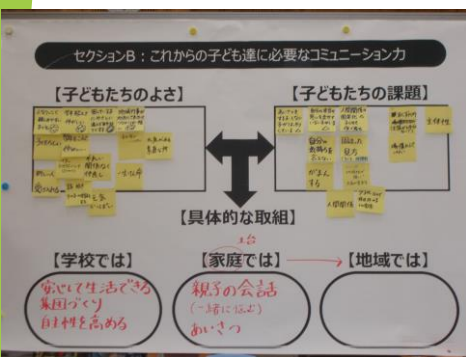
活字に親しむことや本物にふれることの大切さが話題になりました。家庭で本の読み聞かせをしたり、親子同じ空間で読書することでコミュニケーションの一環になるのではないかと。検索すれば答えが出る世の中だが、結果だけでなく過程を大事にしたり、丁寧に時間をかけることのよさもあるのではないかと。地域では五感に訴えたり実物に触れたりする経験がたくさんできるといいなど、活発に意見が出されました。



セクションB

「これからの子ども達に必要なコミュニケーション力」

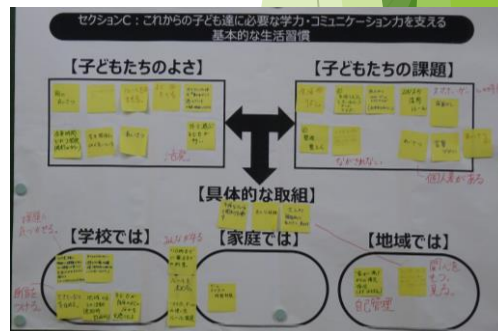
「地域行事が大切にされつながりが強い」「年齢関係なく仲よし」そんなよさをもつ長糸小学校。今後必要なコミュニケーション力を育てるために、学校では「安心して生活できる集団づくり」「自主性を高める取組」、家庭では「親子の会話」、地域では「明るい挨拶」が大事なのではないかという意見が出されました。



セクションC

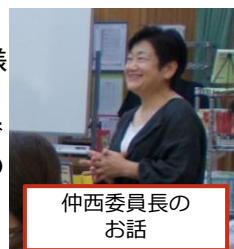
「これからの子ども達に必要な学力・コミュニケーション力を支える基本的な生活習慣」

家庭での「ルールづくり」と「自己管理」の大切さが話題の中心になりました。特に「スマホやゲームの使い方」「就寝時間」について等です。ルールを押し付けるのではなく、子ども自身が課題に気づき、大人と一緒にルールを考えることが自己管理へとつながること、また、「子どもたちに関心をもつ大人が増えることが地域の育成にもつながる」など前向きな意見も出されました。



【「熟議」を終えて】

それぞれの正解を求めるのではなく、これらのテーマについて、学校運営協議委員の皆様PTA理事の皆様、そして教職員とで話し合うことそのものが貴重な時間でした。それぞれの立場から、率直な意見を出していただき、今後の在り方について方向性を見出すことができました。また、今回は特認校の保護者の方の参加もありました。新たな視点で、長糸小のよさや課題について話し合うよい機会となりました。夏休み中の暑い日でしたが、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。



仲西委員長のお話